

A full-page background image of a sunset over the ocean. The sun is low on the horizon, creating a bright orange glow that reflects on the water. The sky is a mix of orange, yellow, and blue. The ocean has small waves, and the overall mood is serene and hopeful.

UTokyo Compass 4年経過成果報告

2025年12月

多様性の海へ：対話が創造する未来

Into a Sea of Diversity: Creating the Future through Dialogue

対話から
創造へ

多様性と
包摂性

世界の誰もが
来たくなる大学

学知を生みだし、つなぎ、深め、卓越性と包摂性を実現

学術での卓越を実現するための、真理への探究心と学問の自由に根ざす研究
地球的な視野、高い倫理、粘り強い実践力、問いを立てる力を育む教育
多様な人間が集まり、課題の発見と共有と解決に取り組む場としての大学
地球規模の課題の解決へ貢献し、世界の公共を担うために創造的に自らの実践をデザイン
インクルーシブで自由なより良い未来社会の創造を目指す

対話が創造する未来

知るために問う



問いを共有する



ともに問う力



理解と信頼へ



多声の協奏

誰もが参加できる海洋観測プロジェクトOMNI

3つの視点 (Perspective)



PERSPECTIVE 1

知をきわめる

真理を探究、多様な学知を創出
公共性へ奉仕、透明性の確保
知の接続機能を持つ拠点、文理
の垣根を越えた連携
好奇心やひらめきを駆動力に、
対話を基礎に



PERSPECTIVE 2

人をはぐくむ

未来を築く卓越した人材を輩出
共感形成の能力を身につける教育
開かれたネットワークの中でしな
やかな対話力を
学生との対話や学生の参加を促進



PERSPECTIVE 3

場をつくる

多声性を活力とする場に、対話で包摂
構成員の多様性を重視、デジタル・イン
クルーシブキャンパスを実現
自ら起点となって社会との架け橋を創る
公共的な存在意義や機能への信頼と支持

3つの視点に好循環を生み出すには



新たな時代の大学という法人の自律性・創造性のあり方を検討

**自律的で創造的な活動の基盤となる
経営力を確立する**



大学の経営力とは

「創造的に自らの実践をデザインする力」

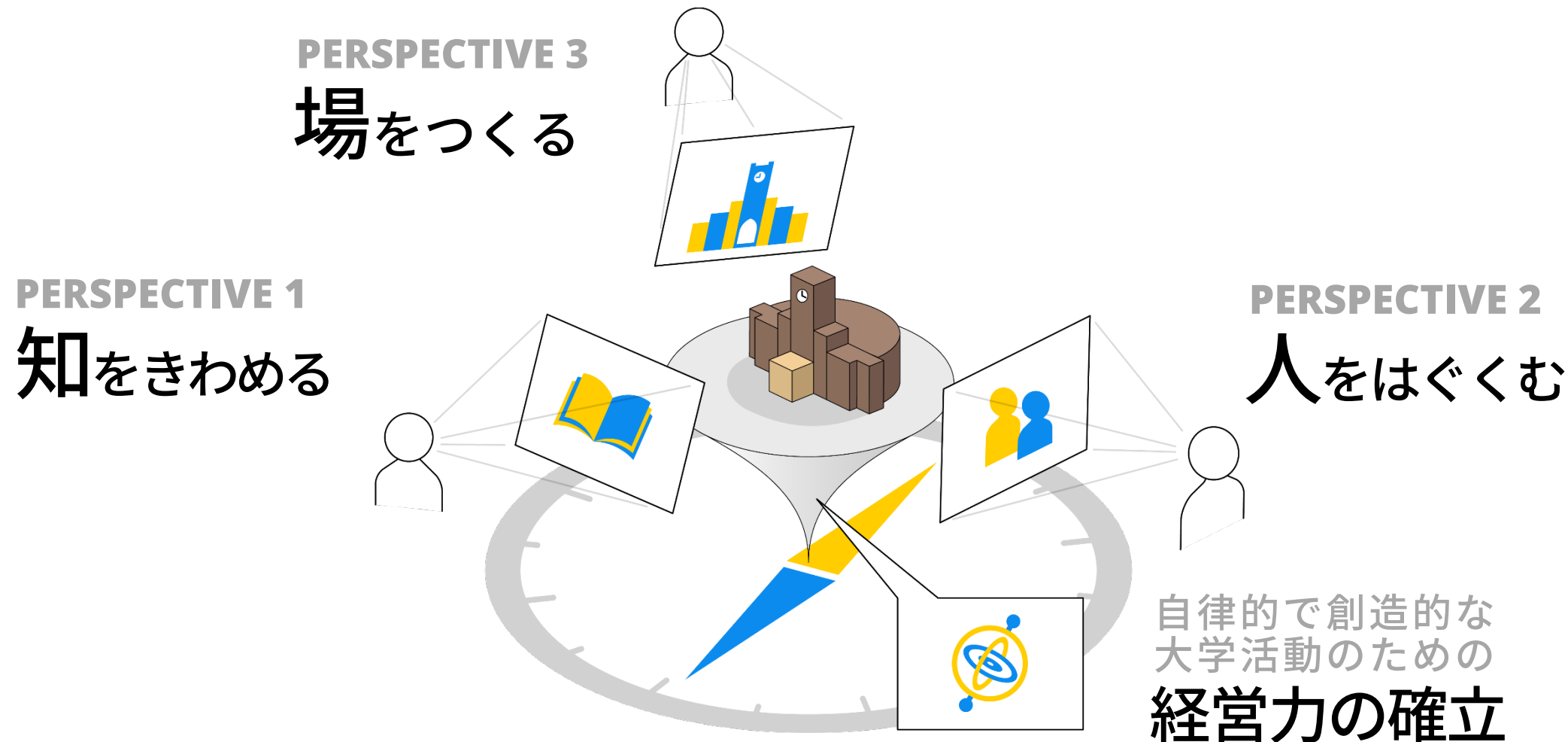
国から付託された従来の役割にとどまらない、財務・人事・制度などにとどまらない、学問の裾野を広げていくために必要な不断の改革や進化

経営力を高める



大学の多様な教育研究活動と社会からの支持・支援を広げる
「公共を担う組織体」としての成長モデルを構築

3つの視点 (Perspective)



20の目標



経営力の確立

1. 「自律的で創造的な大学モデル」の構築
2. 持続可能な組織体としての経営戦略の創出と大学の機能拡張
3. 大学が果たす役割についての支持と共感の増進



知をきわめる

4. 地球規模の課題解決への取組
5. 多様な学術の振興
6. 卓越した学知の構築
7. 産学協創による価値創造
8. 責任ある研究



人をはぐくむ

9. 包摂性への感受性と創造的な対話力をはぐくむ教育
10. 国際感覚をはぐくむ教育
11. 学部教育：専門性に加えて幅広い教養と高い倫理性を有する人材の育成
12. 大学院教育：高い専門性と実践力を備え次世代の課題に取り組む人材の育成
13. 若手研究者の育成
14. 高度な専門性と創造性を有する職員の育成
15. 大学と社会をつなぐ双方向リカレント教育の実施



場をつくる

16. 安心して活動でき世界の誰もが来たくなるキャンパス
17. 教育研究活動の支援
18. サイバー空間に広がるキャンパス
19. 社会への場の広がり
20. 国際的な場の広がり



経営力の確立

上場企業によるエンダウメント型研究組織設立

トランスポートイノベーション研究センター

2025年2月1日設置

いすゞ自動車株式会社からの寄付金の運用益にて東京大学が運営するエンダウメント型研究組織として大学院工学系研究科内に開設。

広範な領域にまたがる物流・交通等に関する各研究分野の境界領域を開拓するとともに、分野間の融合を図り、産業界と連携して物流・交通等の諸課題の解決に向けた研究に取り組むことで技術革新を先導し、社会制度や政策課題などの解決に資する研究成果を導き出すことを目指す。



住宅都市再生研究センター

2025年10月1日設置

大和ハウス工業株式会社からの寄付金の運用益にて東京大学が運営するエンダウメント型研究組織として開設。

現代の住宅・都市再生が抱える諸課題の解決に向けた研究に取り組み、住宅・都市再生に役立つ技術及び制度の革新を先導することで、社会制度や政策などの課題解決を目指す。





経営力の確立

東京大学債の発行

自律的で創造的な大学活動のための経営力の確立を目指して、過去6回にわたり発行。東京大学が進めるUTokyo Compassに資する事業やFSI (Future Society Initiative) 事業を加速するため、第1回・第2回債は世界初の大学によるソーシャルボンドとして、第3回債以降はソーシャル性・グリーン性を併せもつサステナビリティボンドとして発行。

UTokyo Compass債 (第3回～第6回債)

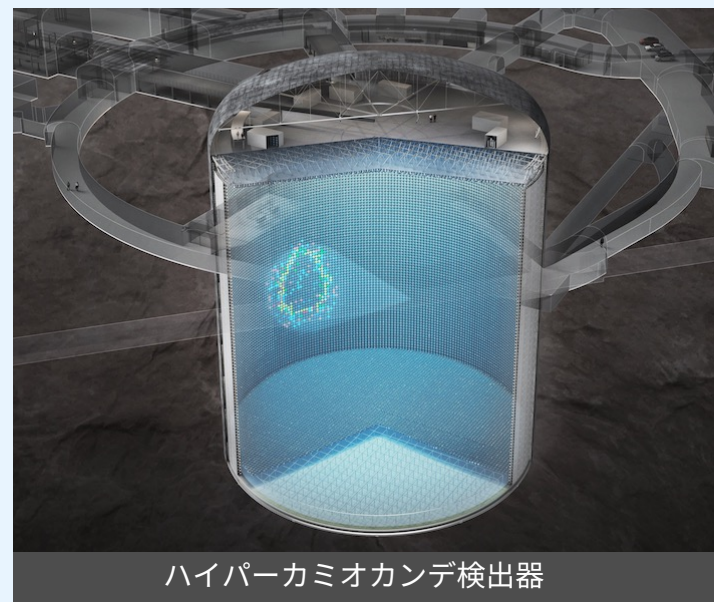
発行：2024年12月 (第3回債)、2025年6月 (第4回～第6回債)
サステナビリティボンドとしての発行
発行額：110億円 (第3回債)、175億円 (第4回～第6回債)

主な資金用途

- ハイパーカミオカンデ計画の推進
- GX推進に向けた基盤整備
- D&Iを推進する拠点「D&I棟」の整備
- 教育研究活動支援システムの導入



D&I棟および周辺イメージ



ハイパーカミオカンデ検出器



経営力の確立



コミュニケーション活動の拡大

2025年4月にコミュニケーション戦略本部の体制を整え、ブランド発信力強化などの改革に着手。10月には「Challengers for Changes」をスローガンにブランドコミュニケーションを開始。海外オーディエンスに対し、東京大学の魅力を効率的に伝えるため英語ランディングサイトを構築。

同本部内のUTokyo Brand Studioでは外部プロフェッショナルとの連携を拡大する一方で、学生スタッフを採用し学生視点の意見やアイデアも取り入れている。今後は専門人材の育成にも注力予定。

UTokyo Brand Studio



UTokyo Brand Studio 成果物

創立150周年関連事業では、従来繋がりのなかった層へのアウトリーチ拡大やコミュニティエンゲージメントの向上を推進。卒業生を始めとする寄付意向者の裾野の拡大につなげている。

その一環で、特設サイト「東京大学の宝物」を公開。同時期放映のNHKとの連携協定関連番組で取り上げられた学内資源を中心に広く紹介している。



特設サイト「東京大学の宝物」



知をきわめる

PERSPECTIVE 1

グリーントランスフォーメーションの推進

グリーントランスフォーメーション戦略推進センター

2025年4月1日設置

カーボンニュートラル、ネイチャーポジティブ及びサーキュラーエコノミーの3つの柱を基盤に多様な学問領域の専門知識を結集。学内外のステークホルダーと連携して社会経済システムを環境再生型に変革し、課題解決と実践を推進するとともに、本学全体のGX戦略を主体的に推進することを目的とする。



UTokyo
Center for Strategic
Promotion of GX

三井住友フィナンシャルグループ（SMBC）と協定締結

2025年4月

東京大学の持つ多様なアセットを価値化する仕組みの構築とその価値の社会への還元、及びそれを通じた「日本の再成長」をリードし先鞭をつける動きへの取組を目的として締結。社会的価値創造に向けて、資金や人的リソースの拠出に互いがコミットする形で、森林GXやスタートアップ支援を含む5つの主要分野で、開かれた知の実現を目指す。





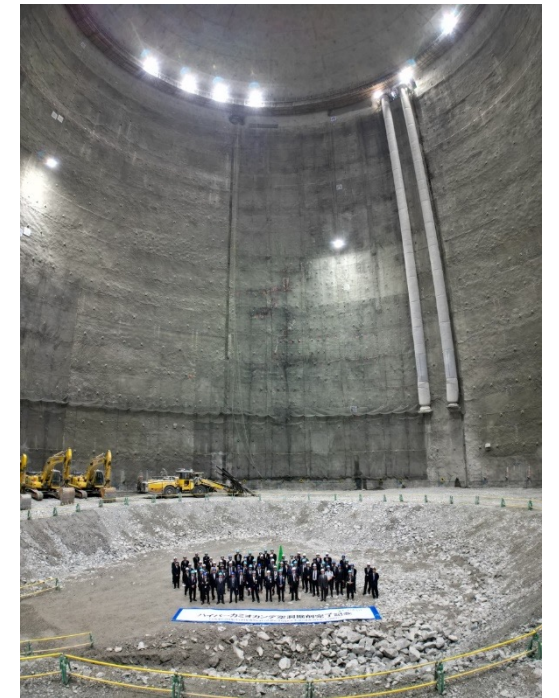
知をきわめる

PERSPECTIVE 1

ハイパーカミオカンデの空洞掘削工事が完了

東京大学が主導して岐阜県飛騨市で建設を進めている次世代超大型水チェレンコフ宇宙素粒子観測装置「ハイパーカミオカンデ」において、検出器本体を設置する巨大地下空洞の掘削が、約2年9か月をかけ、2025年7月31日に完了（同年6月28日に記念式典・空洞見学会を開催）。

今後、この直径69メートル、高さ最大94メートルの巨大な空洞に、光センサー等の取り付けがなされた後、超純水で満たされ、2028年には観測が開始される予定。





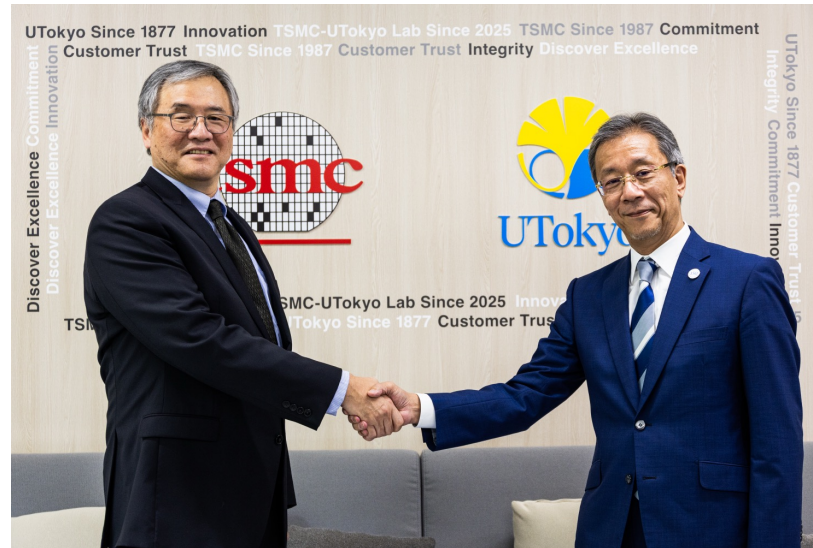
知をきわめる

PERSPECTIVE 1

先端半導体の研究・教育・人材育成の推進へ

2019年以来のTaiwan Semiconductor Manufacturing Company Limited（以下「TSMC」）との先端半導体技術の共同研究開発を、より体系的・戦略的に推進すべく、2025年4月TSMCとの産学協創協定を締結。

6月には半導体技術における最先端の研究開発を促進し、革新的なソリューションを生み出し、また半導体人材の育成を目指すためのジョイントラボ「TSMC東大ラボ」の運用を開始。相互に連携・協力を進めていく。



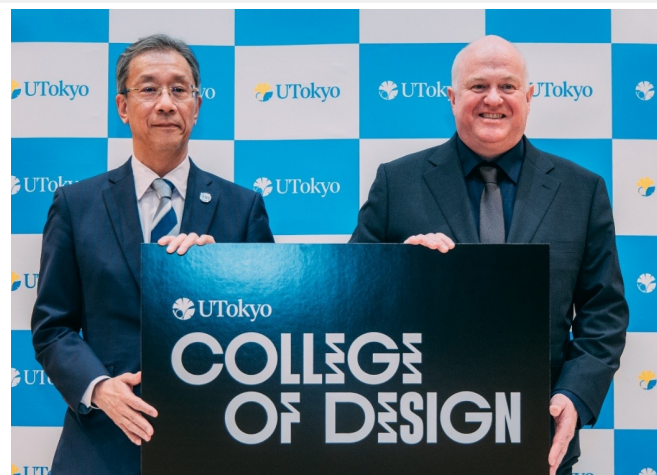


人をはぐくむ

PERSPECTIVE 2

UTokyo College of Designの開設に向けて

2027年9月開設に向けて、2025年4月に記者発表を実施。藤井総長および学部長予定者のMiles Pennington教授が、多様な学術知をデザインの力で融合し、社会課題に取り組み、世界にインパクトを与えるリーダーの育成を目指すことや、カリキュラム概要などを紹介。以降Websiteで順次情報発信を行うとともに、入学希望者、高等学校教員、協働企業等の対象別に様々な方法で説明の機会を設けている。



See the World
Through Design.
Then Change It

UTokyo
**COLLEGE
OF DESIGN**

to be established in 2027

UTokyo College of Design の概要

課程：学士・修士一貫の5年プログラム

開設時期：2027年9月（秋入学）

教育体制：世界中からトップレベルの教員を集め、全学の協力を得て構築したカリキュラムのもと、すべて英語で実施

入学定員：100名（国内・インターナショナル、各50人程度）。国際標準のアドミッションを実施し多様な人材を集める。

開設場所：本郷キャンパス（東京都文京区）



人をはぐくむ

PERSPECTIVE 2

AUA Summit 2025を主催



2025年4月17、18日に本郷キャンパスの山上会館で、アジア大学連盟（Asian Universities Alliance。略称：AUA）の年次学長会議である、AUA Summit 2025を開催。

AUAはアジア各国を代表する16大学を加盟校とし、グローバルリーダーの育成、産官学協力の革新的なプラットフォームとなること、多文化学習環境の整備、を切り口に地球規模の様々な課題解決に取り組むことを目的に、2017年に設立された。本学は発足当初からの加盟校であり、今回初めて公式会議の主催校を務めた。





人をはぐくむ

PERSPECTIVE 2

他大学との包括連携協定の締結

双方の特色及び教育研究資源を通じた人材育成及び地域社会への貢献に資することを目的とし、各大学との協定を締結。

公立大学法人秋田県立大学

森林の二酸化炭素の吸収や貯蔵を高精度で測定できる方法の開発、洋上風力やバイオマスなど再生可能エネルギーの開発および利用のほか、日本海側の気候変動を見据えた新たな農業技術を創出するための共同研究等に取り組み、秋田県をはじめ地域の課題解決はもとより世界規模の課題の解決に向けた研究の推進と優れた人材の育成を目指す。

2025年4月締結

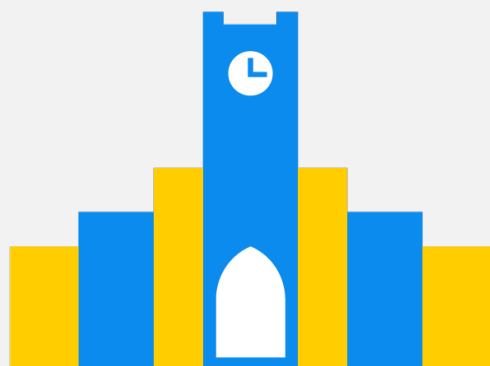


国立大学東京藝術大学

これまで共同研究や学生交流等の面で培ってきた連携をさらに強化する形で、東京藝術大学芸術未来研究場における藝大生と東大生との地域貢献事業（両大学学生、谷根千地域の住民が集う藝大部屋での地域活性化プロジェクト「ベンチ共創プロジェクト」の実施など）等に取り組む。

2025年5月締結





場をつくる

PERSPECTIVE 3

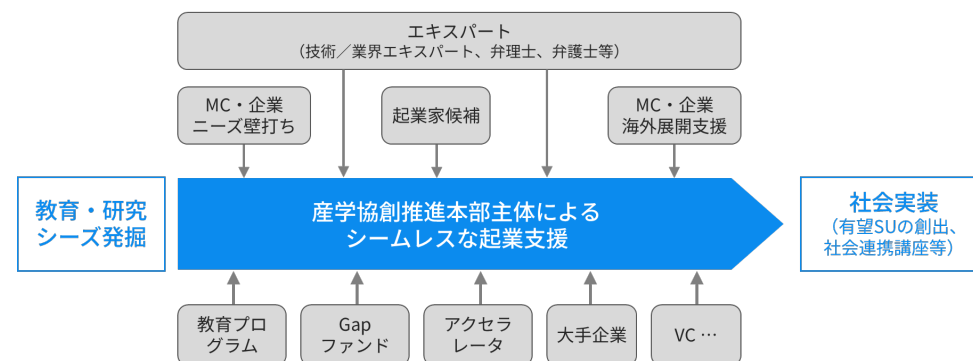
全学横断での技術発掘・起業支援

三菱商事株式会社からの寄付（6億円）をもとに、東京大学発のスタートアップ創出を加速させる「東京大学・三菱商事 Tech Incubation Palette」を開設。

東京大学に潜在する有望技術を、特定領域に限らず広く発掘・探索するとともに、起業家候補の紹介や起業支援などステージに応じたサポートを実施。三菱商事からは、寄付に加え、産業知見やグローバルベースでの企業ネットワーク等の提供が見込まれ、有望な研究・技術が持つポテンシャルの引き出しを目指す。



シーズ発掘から社会実装まで、シームレスな起業支援



三菱商事(株)から東京大学への6億円の寄付により立ち上げ



場をつくる

PERSPECTIVE 3

共助資本主義の実現に向けた大学連合に参画

社会課題先進国ともいえる日本において、地理・分野を超えた大学並びに研究機関で学問を追究する学生及び研究者に対し、共助人材として産学官民の垣根を越え、複雑化する社会課題の解決を実現する新たな担い手としての交流・学修・創発・実践の機会を提供するべく「共助資本主義の実現に向けた大学連合」に参画。



MEMBERS as of October 2025

東京大学 上智大学 東京外国語大学
中央大学 関西大学 法政大学 東北大学
立命館大学 早稲田大学 立教大学
東京科学大学 大阪大学 帝京大学
お茶の水女子大学

設立時参加大学 (13大学) に
お茶の水女子大学を加えた**14大学**で活動中



2025年2月 設立総会



場をつくる

PERSPECTIVE 3

東京大学GATEWAY Campus開設

東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）と締結した産学協創協定を背景に、「TAKANAWA GATEWAY CITY」に「東京大学GATEWAY Campus」を開設。プラネタリーヘルスの創出を目的とした協創プロジェクトPlanetary Health Design Laboratoryの拠点とし、JR東日本グループの駅・鉄道・まちといったインフラを実験場として、東京大学の多様な先端的な知を実証し、未来のくらしづくりに取り組んでいく。





場をつくる

PERSPECTIVE 3

岩手県と包括連携協定を締結

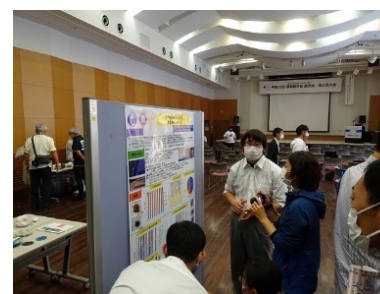
岩手県の復興及び地域課題に迅速かつ適切に対応し、活力のある個性豊かな地域社会の形成、発展に寄与するため、相互に連携・協力することを目的として締結。

(連携・協力事項)

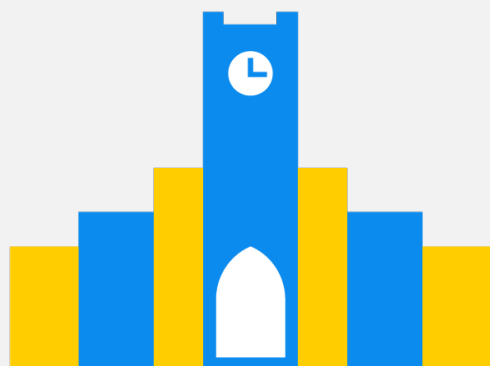
- ・ 東日本大震災津波及び大規模自然災害からの復興の推進
- ・ 地域の課題対応のための学術研究の推進
- ・ 地域における取組みを通じた人材の交流と育成
- ・ 学術研究の成果の社会実装
- ・ その他本協定の目的を達成するために必要な事項



2024年12月締結



これまでの連携事例



場をつくる PERSPECTIVE 3

IncluDEキックオフシンポジウム開催

多様性包摂共創センター（IncluDE）は、「世界の誰もが来たくなる大学」の実現を目指す場として、2024年4月に設立した。2025年9月にキックオフシンポジウム「共に創るDEI」を安田講堂で開催し、約230名が来場した。設立からの1年半の活動を振り返り、更なる発展に向けて議論を行った他、手話狂言のパフォーマンスやDEI啓発ポスターの展示などを行った。

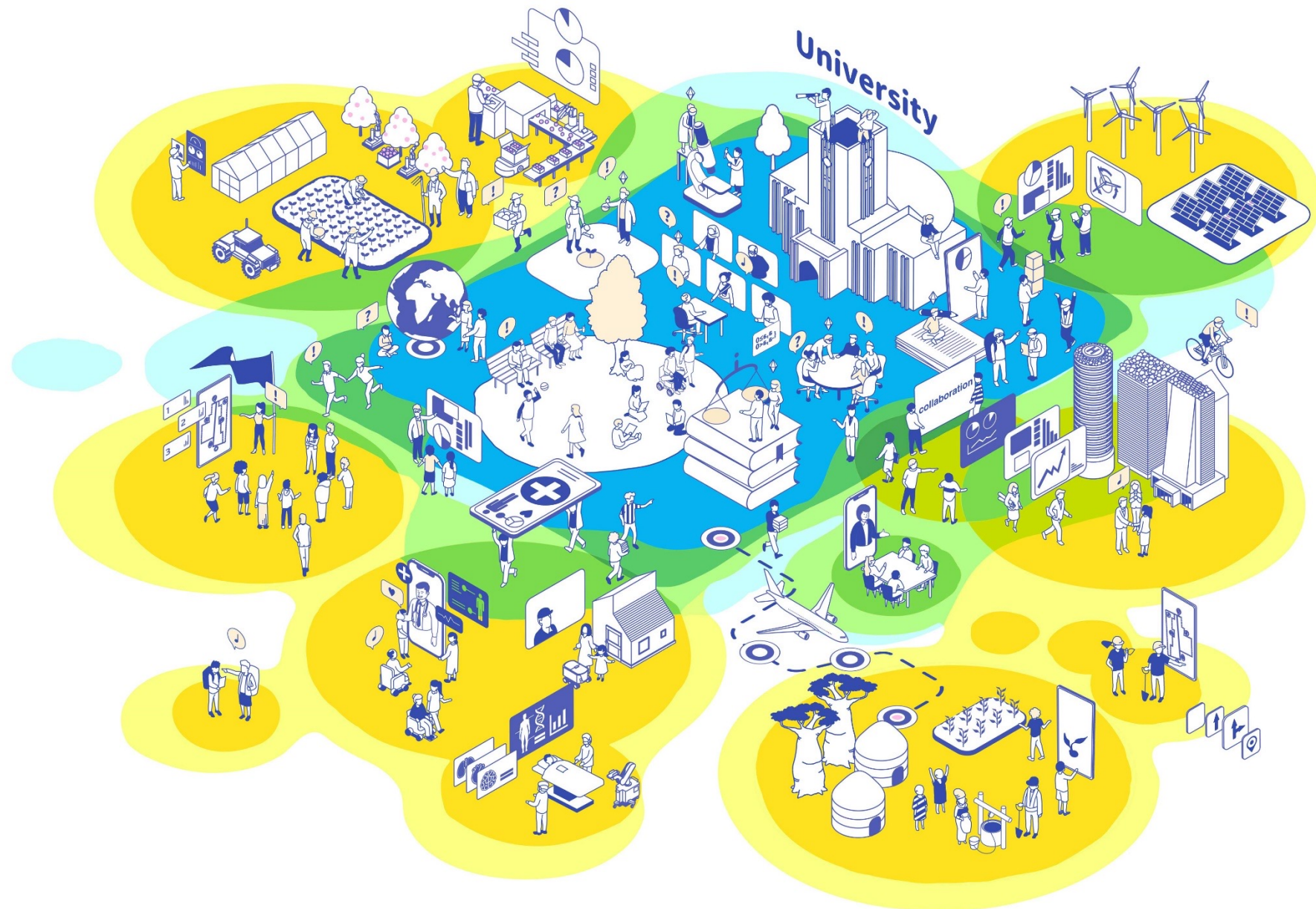


UTokyo COMPASS 2.0 が描き出すこれからの東京大学

多様な人々が集い、対話し、
新たな学知を生み出す。



多様性に開かれた対話を通じてあるべき未来像を社会とともに創り上げる



UTokyo **COMPASS** 2.0 

多様性の海へ: 対話が創造する未来